



平成30年9月5日

各位

会社名 株式会社きんえい  
代表者名 取締役社長 田中 耕造  
(コード番号 9636 東証第2部)  
問合せ先 取締役経理部長 好井 裕一  
(TEL. 06-6632-4553)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成30年3月14日に公表いたしました平成31年1月期第2四半期累計期間(平成30年2月1日～平成30年7月31日)の個別業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成31年1月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成30年2月1日～平成30年7月31日)

|                                   | 売上高   | 営業利益 | 経常利益 | 四半期純利益 | 1株当たり<br>四半期純利益 |
|-----------------------------------|-------|------|------|--------|-----------------|
|                                   | 百万円   | 百万円  | 百万円  | 百万円    | 円 銭             |
| 前回発表予想(A)                         | 1,720 | 90   | 90   | 60     | 21.51           |
| 今回修正予想(B)                         | 1,760 | 120  | 128  | 86     | 30.84           |
| 増減額(B-A)                          | 40    | 30   | 38   | 26     |                 |
| 増減率(%)                            | 2.3   | 33.3 | 42.2 | 43.3   |                 |
| (ご参考)前期第2四半期実績<br>(平成30年1月期第2四半期) | 1,836 | 141  | 142  | 88     | 31.88           |

#### 2. 修正の理由

シネマ・アミューズメント事業では、前年のディズニー映画「美女と野獣」の大ヒットの反動減を織り込んでおりましたが、海外の映画祭の受賞作品「万引き家族」のヒットもあり、また、不動産事業でも、期初に退去があった賃貸ビルの区画の後継テナントが想定よりも早く決まったため、売上高は当初の予想を上回る見込みであります。一方、売上原価は、映画興行収入の増に伴いフィルム料は相応に増加しましたが、諸経費はテナントリーシング費用を抑えることができたこともあり、各利益ともに、前回発表予想を上回る見込みとなりました。

(注) 上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる結果になる可能性があります。

また、第2四半期累計期間の決算短信は、平成30年9月6日(木)発表予定であります。

以上